

平成26年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公共下水道特別会計繰出金	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	4	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	下水道課			
施策	224上・下水道の整備	担当課室長	貞方 敦雄			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	維持管理費が増大することのないよう将来を考えた設計をする必要がある。また既設配水管を再利用する等、各家庭の支出を抑えることにより利用促進を図る。 公共下水道の整備には多大な費用を要する為、水洗化率を向上させ、特定財源である下水道使用料を確保し、事業が遅れることのないよう一般会計からの繰入金を削減していく。	③平成26年度に取り組む改革・改善内容	引き続き、コスト縮減と特定財源の確保による繰出金の抑制に努めるが、今後の下水道整備計画について、見直しに着手する。
②①に基づく取組み結果	当初予算額618,700千円から決算額354,915千円に減額した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	公共下水道区域内に居住している市民	意図(対象をどうするのか)	公共下水道整備による生活環境の改善
②事務事業の概要				
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)				
鎌ヶ谷市における公共下水道は、昭和49年に事業着手し、平成25年度末で整備面積約619ha、普及率57.41%となっている。				

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成25年度の事業の成果							
②成果を表す指標	指標名称		平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	算定根拠
	i	下水道普及率	56.2	57.1	57.4	%	業務取得
	ii	水洗化戸数	25,198	24,740	25,111	戸	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト		平成24年度決算	平成25年度決算	平成25年度決算(事業費)の主な内訳		平成26年度予算	
事業費(千円)		559,533	354,915	金額(千円)	内容	634,650	
国支出金(千円)				354,915		繰出金	
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)		559,533	354,915			634,650	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	特定財源である下水道使用料を確保し、繰入額の削減を図っていく。各家庭の負担軽減による水洗化人口の向上と維持管理、建設にかかるコストを抑制に努める。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	5改善
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	下水道事業は、法令に基づいた公共用水域の水質改善を目的としており、整備が長期にわたる事から、市が主体となり、コスト抑制に努めながら今後も継続していく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成25年度の計画	既成市街地事業 汚水9ha		平成25年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費		予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	既成市街地において、7haを整備	618,700	354,915	当初	618,700	H24からの繰越	0
				H24⇒25繰越	0		
③達成状況	完了			補正	-263,785	現年分	354,915
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
				平成26年度への繰越額(単位:千円)		0	